



2020年10月10日（土）（11:50-12:40）

言語学博士、服部孝彦教授の「帰国小学生英語講座」特別講義



Games and Activities for Returnees

～親子で楽しむ英語のゲーム～

帰国生の第二言語喪失で最も顕著なのは語彙の忘却です。そこで語彙力の喪失を防ぐための親子で取り組める楽しいアクティビティーを紹介いたします。今回は教室でアナグラムをします。アナグラムを日本語の辞書で調べてみると「ことばのつづりを換えることによる遊び。単語をばらばらに崩し、全く別の単語を作る」（『精選版 日本国語大辞典』）と書いてあります。例えば live（生命）という字を並べ替えてみると evil（邪悪）という単語が出来ます。このように単語のアルファベットをバラバラにして並べ替え、意味のある違ったつづりの単語を作り出すことをアナグラムといいます。アナグラムは「言葉遊び」の一種で、子どもたちは、自然な形で、楽しみながら英語に触れることができます。親子でのご参加をおすすめいたします。

[講師紹介]

大妻中野中高、英語教育・グローバル教育アドバイザー

大妻女子大学・同大学院教授、早稲田大学講師。

服部孝彦（はっとり・たかひこ）先生



初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女。言語学博士（Ph.D.）。米国ケンタッキー州立ムレー大学（MSU）大学院客員教授等を経て現職。公益財団法人海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、JSAF-IELTSアカデミック・スーパーバイザー、元NHK英語教育番組講師。文部科学省SGHやWWL等の、国のグローバル化のためのリーディング・プロジェクトの中心メンバーとして活躍されている。主な著書に文部科学省検定中学英語教科書『ニューホライズン』（共著、東京書籍）他、著書183冊、学術誌発表論文132編、学会発表論文171編、教育誌執筆記事488編。今までの日本及び海外での英語教育、グローバル教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計1,050回を超える。日本に本拠地を置く現在でも日米間を何往復もしながら、米国の大学での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。

日時：2020年10月10日（土） 11:50～12:40

※ 10:50～11:40は通常の土曜日講座を本校にて実施します。

場所：大妻中野中学校・高等学校 英語室

対象：帰国小学生とその保護者

ご参加ご希望の方は10月3日（土）17:00 pm までに下記までご連絡ください。

メールアドレス：global@otsumanakano.ac.jp

※「10/10 服部先生の特別授業参加希望」、「学校名、学年、生徒氏名」を明記し送信してください。



【COVID-19感染予防にご協力願います】

※当日は座席を指定させていただきます。

※御来校の際には、マスク着用とアルコール消毒をお願いしております。

※当日は、検温をしていただき、発熱・体調不良の際はご参加をご遠慮願います。

※COVID-19の感染状況によっては、開催をオンライン形式に変更する場合がございます。

